

## 目標達成計画

作成日：平成 28年 3月 30日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20	なじみの場所等へ出掛けられる様支援しているも、重度化が進み発信のない利用者の希望を全て把握しているとは考え難い。発信の少ない利用者のなじみの場所や関係を探り出し、支援していく必要がある。転居されている方は近隣になじみの場所がない。	自ら発信する事が少ない利用者のなじみの場代や関係を探り支援する。新しい関係を作っていけるよう支援する	各利用者にとっての馴染みの場所や関係、及び大切な場所、関係性をアセスメントし、具体的な支援をする。又、転居されている方へは、新しい社会との繋がりができるように支援する。	12ヶ月
2	54	身体機能が低下し自立度が低い利用者の方へは、職員及び、ご家族がしつらえの大切さの理解が充分とは言えず、寝る為の部屋とのなっている場合がある為、本人らしい居室となっていない。	ご家族と共に本人らしさの大切さを理解できるようにする。	職員へは、カンファレンス時、及びOJTにて指導する。ご家族へは御面会時に、ご本人の様子をお伝えしながら、施設ならではの把握できる部分の、ご本人のわかる事や出来る事をお伝えしながら部屋のしつらえをご家族と共に考える	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。